

音／声の技術を使いこなす女性アーティストたち——女性のかき消された声、沈黙をテーマにした作品を国際的に展開するサウンドアーティストの北條知子、ミュージシャン／DJとして世界を舞台に活動しながら社会的／政治的 이슈を提起してきた Sapphire Slows。表現とジェンダーをめぐる今日的な問題意識に関するレクチャーと、音と声を接続・増幅する技術を用いたそれぞれのパフォーマンスを通じて、二人のアーティストが体感してきた世界と課題について学びます。

京女生参加自由
学外者要予約



詳細と予約は QR コードから

レクチャー

音

と

11.22 金曜日
17-19 時

京都女子大学図書館
カジュアルスタディスペース

技術

と

ミュージシャン

と

DJ

と

と

と

司会：日高良祐
京都女子大学現代社会学部

Guest
Lecturers

ミュージシャン／DJ

Sapphire Slows

サウンドアーティスト

北條知子

東京在住のプロデューサー、DJ、パフォーマー。2011年のデビュー後、瞬く間に世界中のアンダーグラウンド・シーンから注目を集め、現在も世界各国へのツアーに加え、Red Bull Music Academy への参加、ロンドンの Rinse FM のレジデントなど精力的に活動している。ライブでは、アナログ・シンセサイザーの中でも伝説の名機と言われる〈ブクラ〉を使用したセットで特別な音楽体験を作り出している。

北條知子は実験的な音、音楽、パフォーマンスの間の流動性において活動するアーティスト。近年は、歴史的に沈黙させられてきた（女性の）声を可聴化するというテーマのもと、オノ・ヨーコについてのプロジェクトを国内外で展開している。2023年にオノ・ヨーコについてのリサーチをもとにした展覧会「Unfinished Descriptions」の記録集を yoin press から出版した。